

人とのふれあいに  
感謝をしながら  
自分も寛げる宿を

Interview

さんきゅう

三喜遊 Thank you

田中 千鳥さん

築百年を超える古民家を自分の手でリノベーションして民宿を開業した田中さん。  
宿への思い、人とふれあう喜び、これからの目標について、じっくりお聞きしました。

## 現在、農林漁家民宿をどのような形で営業されていますか？

自分の手で築百年を超える古民家をリノベーションしました。会社に勤めながらの作業でしたので3年半の月日が必要でしたが、その分思いを込めて作り上げることができましたね。月・火・金・土・日曜日は、カフェとしても営業しているので大変な面もありますが、宿では1日1組最大6名のお客様をお迎えできる準備をしています。料金は6畳と8畳のお部屋を自由にお使いいただいて、夜と翌朝の2食付きで、おひとり8,000円（税込）です。

食事については、海の幸、山の幸が豊かな三豊市・仁尾の特徴を活かし、地産地消をモットーに旬の美味しさと手作りにこだわっています。メニューは讃岐の郷土料理が中心で、必ずお出しするのがカフェでも人気の『骨付き鳥』ですね。あと冬場には讃岐うどんの冬限定メニュー『しっぽくうどん』もお出ししています。

体験メニューとしては、みかん狩りなどの農業体験や全国的な人気スポットになりつつある「父母ヶ浜」のサンセット見学などをご用意しています。



ここでしか出会えない味と景色が人気です

## なぜ農林漁家民宿をはじめようと思ったのでしょうか？

地域の人と関わり合いながら、自分が作るお料理やお茶でゆっくりと寛ぎ、喜んでいただける場所を作りたいという思いが以前からあったんです。また、若い頃に居酒屋をしていた経験があり、調理師免許も持っていますので、お客様に失礼のない食事が提供できる自信もありました。だから自分自身もここで時の流れを楽しみつつ、年を重ねていければ素敵だと思って考えています。

この名前にもその思いが反映されているんですよ（笑）。「三豊で喜んで遊ぶ」、そして訪れていただいた方、ご協力いただいた方など縁のあるすべての人に感謝する気持ち「サンキュー」です。これからの人生を「三喜遊」で、ゆっくり楽しめたら嬉しいです。

## 開業するための経費について教えてください

工務店など業者にお願いしたら何百万も掛かったのかも知れませんが、自分自身でコツコツとリノベーションしましたので、それに必要だった建材や塗料などの費用だけです。築百年の古民家を手直しする訳ですから、それでも決して安くはない金額でしたが節約はできたと思います。

ただ開業後に、エアコンの増設など買い揃えるものも多々ありましたので、その節約が後々活きました。リノベーションを自分で頑張ってた良かったです。



「人との出会いが好きなんです」と田中さん

## 旅館業法等の開業手続きは、ご面倒ではなかったですか？

県のグリーン・ツーリズム担当の方のご指導もあって、申請手続きに関してはとてもスムーズに進めることができました。施設の設備についても、あらかじめチェックとアドバイスをいただきましたので、お役所や関連部署から「ダメ出し」を受けることもなく本当に助かりました。

むしろ大変なのは開業後で、スマホに対応した決済方法や、国や県などが推進する「旅行支援割引」への対応など、お客様の要望にお応えするための準備を全部ひとりで考えて解決しなきゃいけなかったことですね。

## 農林漁家民宿を開業して良かったことは何ですか？

宿泊のお客様は、皆さん口を揃えて「実家や親戚の家に来たいみたい」と言ってくれます。宿の古風な雰囲気、郷土色豊かな食事もあると思うのですが、それを喜んでもらえていることは、自分の喜びに大きくつながっていますね。

それともうひとつ。人との交流を日々実感できることです。お客様とのふれあいはもちろん、近くに住んでいる息子夫婦がゴミ出しなどの手伝いをしてくれたり、近隣の方がいつもお野菜やお花を持って来てくれたり、ハンドクラフトをしている友人たちが作品を持ち寄ってくれたりとか、開業前には想定していなかった手助けや協力がふれて、人の温かさ、優しさに改めて気付くことができました。このような気持ちのいい交流が、ずっと続けられるといいなと思います。



お料理には地元の食材が多彩に使われています

## 宿泊者とのエピソードで心に残ったことがあれば教えてください



お子様に大人気のブランコ。もちろん手作りです

お越しになる方は関西方面の方がいちばん多いのですが、東京や仙台など遠方から来られる方も少なくないです。家族や友人同士、おひとりですらっしゃる方など人数は様々ですが、皆さんゆったりのおんびり過ごされています。その姿を見て、こちらも癒やされますね。

夏に来られたご家族の子もたちに、家庭用の水遊びプールをお出ししたんです。すると「おばあちゃんの家みたい」と、親御さんまで大喜びしていただき楽しい時間を過ごされました。

また、食事には「まんば」や「葉ごぼう」など香川にしかない食材を使うよう心掛けていたのですが、県外の方は「珍しい、美味しい」と喜んで召し上がっていただけます。

ちょっと自分の気遣いが、素晴らしい笑顔との出会いにつながると嬉しさも大きいですし、いつまでも心に温かいものが残りますね。

## 農林漁家民宿の魅力は何ですか？

開業準備にあたって、あまり無理して費用を掛けなくてもいいのは魅力のひとつでしょうね。実際、うちはセルフリフォームで施設改修をおこなったので「古いだけ取り柄」みたいな所がありますが、その空間を楽しんでくださる方がいらっしゃいます。お客様に不快な思いをさせるのは駄目ですが、アイデアやおもてなしの仕方ひとつで、喜んで泊まってもらえる宿を作っていけると嬉しいです。

そして、地域を含めて自分の愛する場所が、初めて出会う方との交流の場となり、お互いの喜びに変えていける。これが「農林漁家民宿」の魅力なのだと思いますね。



古風な趣が、時の流れを緩やかに感じさせる

## 今後の目標を教えてください

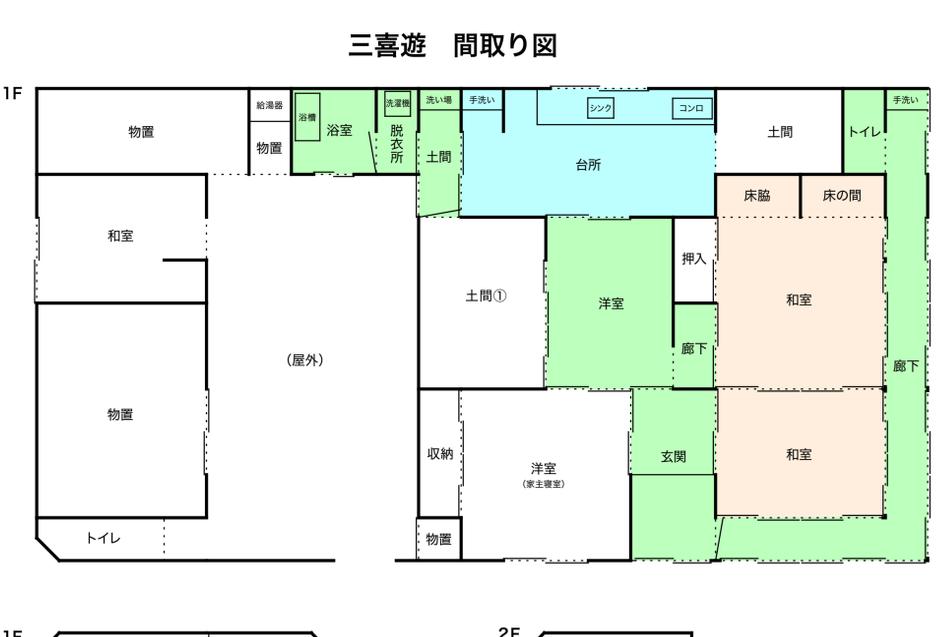
今の時代は、お客様の要望に応えられる新しい取り組みにも対応していくことがとても大切だと思うんです。例えば、宿やカフェの効率的なアピールにインターネットは必須でしょ。自分でも情報発信を少しずつできるよう努力していますが、元々パソコンが苦手なこともあり結構苦労しています（笑）。また、スマホ決済についても様々な種類があり混乱しますが、何とか前向きには進んでいます。このような現状ですから、理想として目指している「自分も楽しめる民宿」には至っていません。これらをクリアすることが、今の課題ですね。

それらが落ち着いたら、宿の“離れ”を改装し、スペースを拡大したいです。まだ手つかずの場所なので、実行するならまた一からの整備となるのですが、宿を広くできれば今、社会的にも需要が伸びつつある“ワーケーション”への対応も考えたいですね。ゆったりした時間が流れるこの民宿で、仕事も余暇も充実していただけたら素晴らしいですよ。だからぜひ実現したいです。慌てず頑張っていこうと思います。



「自分自身も楽しめる宿を目指したいです」

## 三喜遊 間取り図



## 三喜遊 基本情報

住所	〒769-1403 香川県三豊市仁尾町仁尾丙7 9 5
電話番号	090-4332-5103
活用した建物	古民家
営業期間	通年不定休、カフェは月・火・金・土・日曜営業
宿泊スタイル	1棟貸し・1名～最大6名様まで対応いたします（要予約）。
体験メニュー	農業体験、父母ヶ浜サンセット見学 夏は海水浴、秋はみかん狩りも楽しめます。
食事	夕食には、地元で獲れた新鮮な野菜やお魚などを活かした郷土料理を中心に、地元名物の「骨付き鳥」や「讃岐うどん」を提供いたします。
宿泊料	1泊2食付き：1人8,000円（税込）
ホームページ	